

## 新しい資本主義と日本経済の再生 ～「失われた 30 年」にどう対応するべきか

一般社団法人ディレクトフォースとファイナンス稲門会のコラボ企画第 3 弾

岸田首相の提唱する「新しい資本主義」とは何か？

実業人の観点から資本主義の発展を産業の変遷とともに捉え、ジレンマを見つめ直した。

そして日本の失われた 30 年を振り返り分析し、次の 30 年が失われることのないよう処方箋をまとめた。

日本は茹でガエル状態に陥ることなく、今を変革の好機と捉えチャレンジングに反転攻勢するときである。

### ◆開催概要

日時：2022 年 10 月 27 日（木）19:00-21:00

形式：Zoom ミーティングによるオンラインセミナー

参加費：無料

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い困窮する学生を支援する「コロナ学生支援チケット」を 1 枚 1000 円にて販売しております。購入は任意です。このチケットの売り上げは全額早稲田大学に寄付されます。

### ◆セミナー内容

第 1 章 資本主義の発展・現資本主義のジレンマと日本経済再生の処方箋

(越後屋)

第 2 章 失われた 30 年の原因と日本らしい資本主義

(田中)

第 3 章 「新しい資本主義」と「人への投資」

(斎藤)

第 4 章 福沢諭吉の経済思想からのからのヒント

(宮崎)

第 5 章 日本企業再生の成功事例と新しい成熟社会モデル

(牧野)

◆講師紹介

【一般社団法人ディレクトフォース 企業ガバナンス部会】

越後屋 秀博氏

三菱銀行（現三菱 UFJ 銀行）、宮地エンジニアリング（橋梁メーカー、代表取締役副社長）出身。国内、海外の経営企画畑。



田中 久司氏

三菱商事で、事業投資のリスクマネジメントを担当。現在は、IPO を目指す IT 会社の社外取締役を務める傍ら AI を研究。



斎藤 龍三氏

伊藤忠商事で、長年エネルギー関連業務に従事。海外駐在歴は、4ヶ国 10 数年。現在は、国際機関太平洋諸島センターに勤務。



宮崎 秦雄氏

旧太陽神戸銀行（現三井住友銀行）出身です。本講演では生粋の早稲田マンですが、福沢諭吉の経済思想の視点から、日本経済再生を考えてみました。



牧野 義司氏

メディアオフィス時代刺激人代表。生涯現役めざす経済ジャーナリスト。

毎日新聞、ロイター通信 OB。早稲田大学大学院卒。



◆主催

ファイナンス稲門会

ファイナンス分野の早稲田 OBOG 会。非営利の任意団体。

<http://www.finance-tomonkai.com/>

◆共催

一般社団法人ディレクトフォース

<https://www.directforce.org/index.html>

◆備考

○当日のオンライン参加

①チケットを申し込んだ方にはご登録のメールアドレス宛てに Peatix よりリマインドメールが届きます。

②そこに表示される「イベントに参加」ボタンを押すと、オンライン参加のためのリンクが表示されます。

③このリンクをクリックしてお入りください。

※接続確認のため、開始少し前にオンラインルームにお入り頂くことをお勧めします

○ツール操作サポート

・主催者側でサポートは致しかねますので、各自にてご対応下さい

○お問い合わせ

・ご不明な点等ありましたらファイナンス稲門会事務局までご連絡ください。